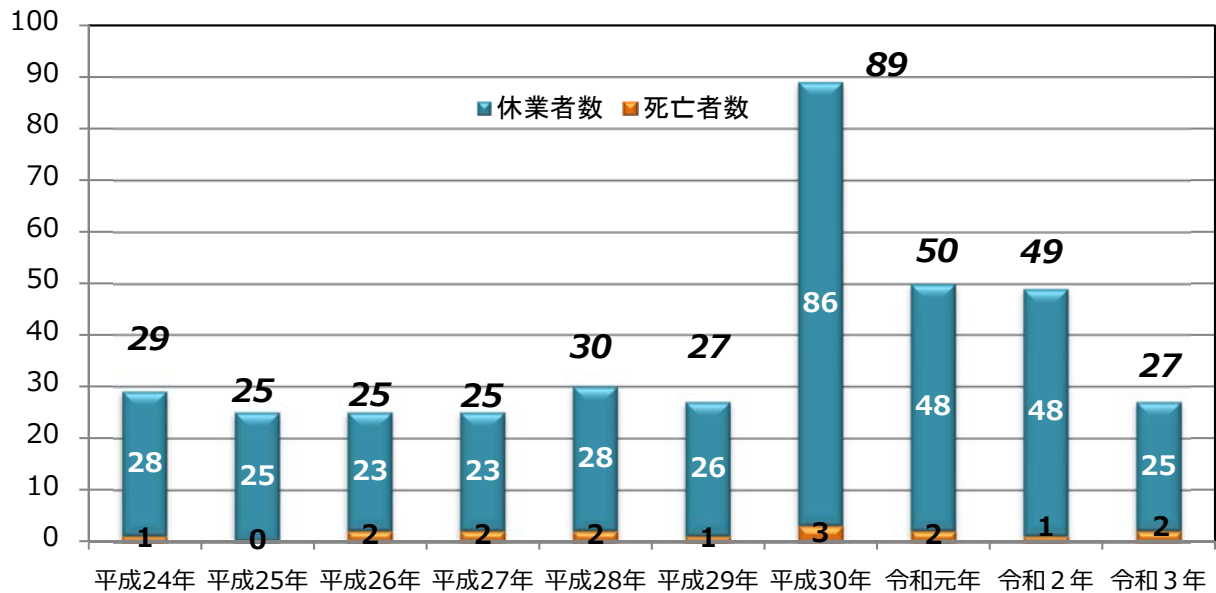
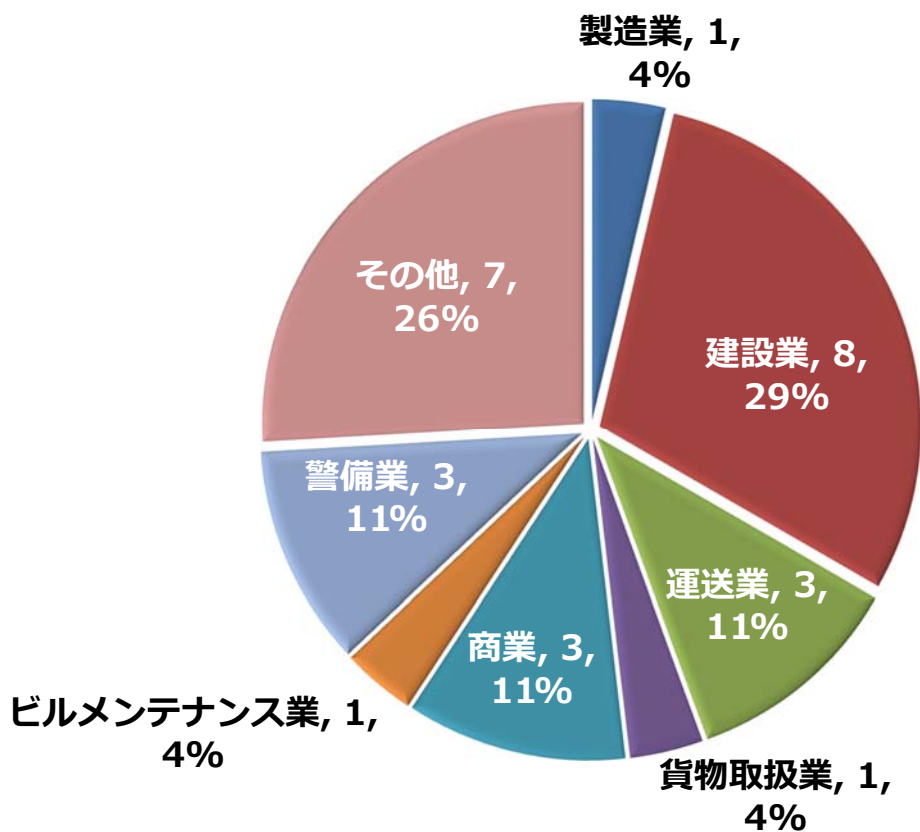


令和3年の府内の事業場における熱中症の発生状況

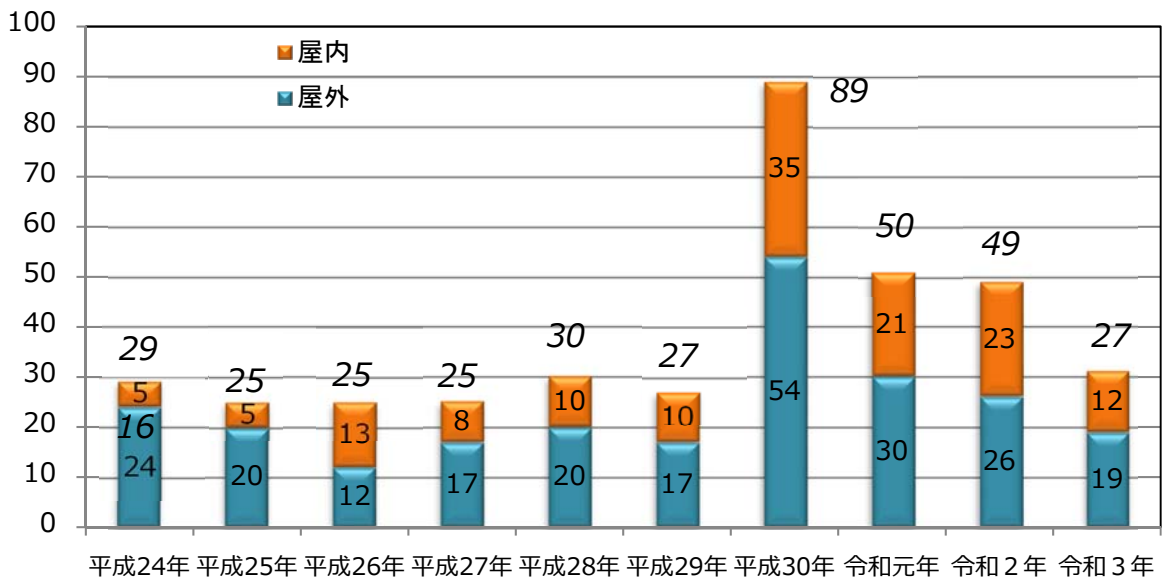
- 熱中症による休業4日以上死傷者数は、前年より減少し27人であった。また、死亡者は、前年より1人増加し2人であった。



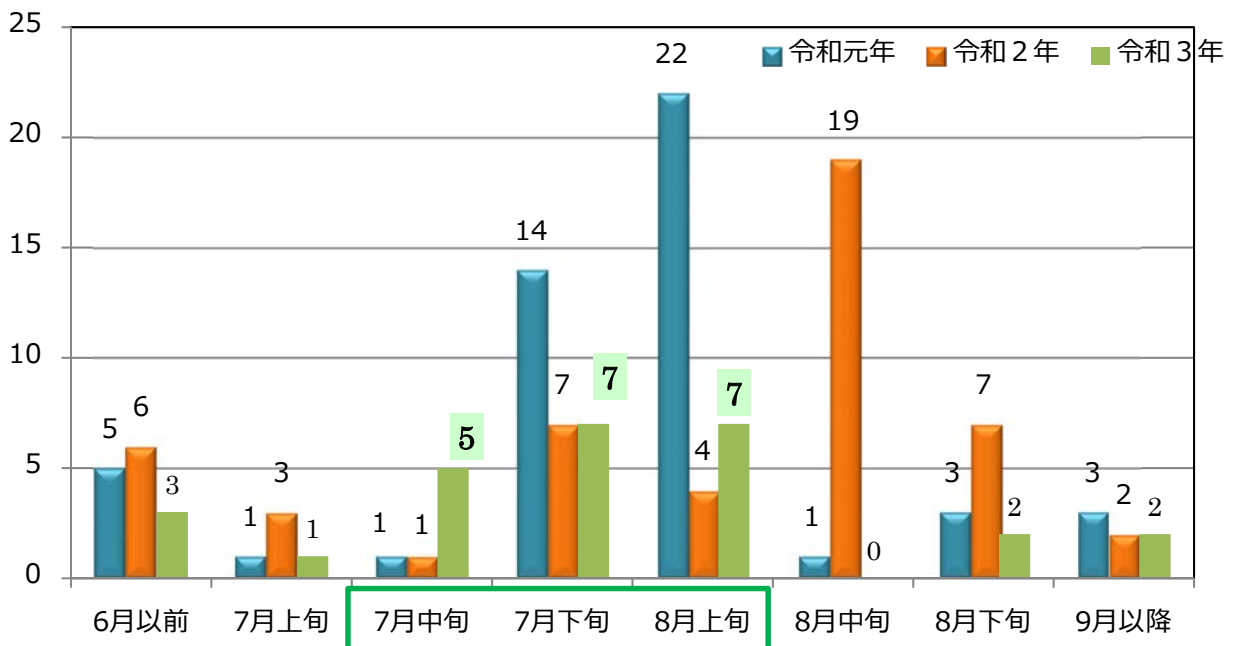
- 業種別では、製造業1人、建設業8人、運送業3人、貨物取扱業1人、商業3人、ビルメンテナンス業1人、及び警備業3人となっている。



- ◇ 令和3年の死傷者数で、全体の約70%が屋外作業でしたが、約30%は屋内で発生している。



- ◇ **令和3年**の発生時期は、全体の約70%が7月中旬から8月上旬に発生している。



令和3年も例年と同じように梅雨明けに猛暑日が多くなり、暑さへの順化が十分できていない7月中旬から熱中症の発生が多くなり、7月31日は1日間に4件発生した。

体調不良者をすぐに病院に搬送するという「緊急時の措置」が適切にとられていなかったと考えられる事案も11件発生している（資料3の発生月欄に☆印を付したもの）。

全国の熱中症による死亡を含む休業4日以上死傷者は547人、うち死亡者は20人となっている（令和4年1月14日現在速報値）。